

エコアクション21



®環境省

エコアクション21

認証番号 0004532

# 環境活動レポート 第7版



大垣市景観遺産

御首神社

対象期間 平成26年10月1日～平成27年9月30日

伊藤鉄工株式会社

発行日 平成27年10月20日

# ごあいさつ

「今年度のEA21活動成果は何だったんだろう？」と振り返ってみると「何もない！」と回答が返ってきそうです。言い訳的な小さな改善はあるものの、胸を張って「CO2削減効果が〇〇%あった。」とは言えない。

この現状を私達には「我慢の時」と捉えている。

失敗に終わった大きな取組に、「エネルギー使用合理化等事業者支援補助金」の申請がある。中味は消費電力を5.4%の向上を目指し社内のエアコンとコンプレッサーを高効率化することであった。ただ、この申請はダメであったが消費電力の削減策が1つ見えてきた。特に、エアーのムダ使いをなくすためにエアー供給システムの改善にも目を向けた。

当社の第6版環境活動レポートに「EA21活動」の登山口に全社員が集結し、登山口で準備体操・体力作りをして、持続可能な企業を目指しEA21活動を「杖」として登りたいと記した。

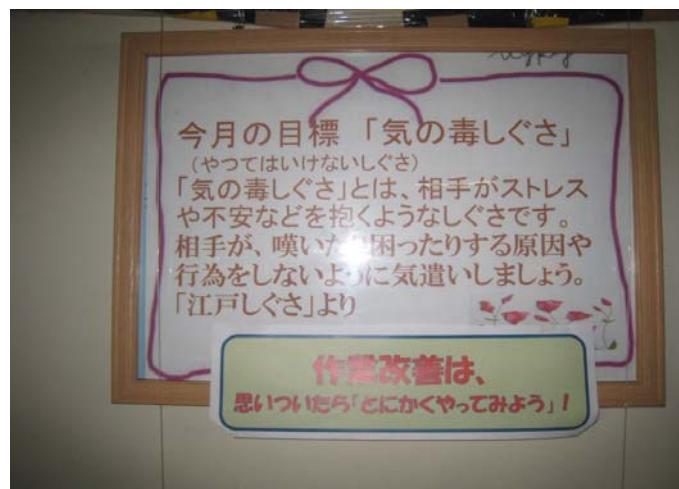
この体力作りには当社は「江戸しぐさ」を取り入れ、人間力を高める挑戦をしている。

体力作りは、効果が見えず辛い時期であるが、我慢の時と捉え「小さな改善」と「江戸しぐさ」を車の両輪にして、活動を継続したいと考えている。

本レポートをご高覧いただき、ご指導ご鞭撻くださいますようお願い申し上げます。











今月の目標

平成27年10月20日



伊藤 誠

# も く じ

	I.組織の概要	3
	II.対象範囲	4
	III.環境理念・環境方針	4
	IV.環境目標	5
	V.環境活動計画	6
	VI.環境目標と実績	7
	VII.環境活動計画の取組結果とその評価	9
	VIII.次年度の取組内容	12
	IX.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無	14
	X.代表者による総合評価	14

## 御首神社

### 御首神社の御神徳

当御首(ミケビ)神社は、平将門公の御首を祀り霊を慰めるために創建された神社です。それ故、古くから首より上の諸祈願にご霊験あらたかであると伝えられ、近年においては首上病気平癒・学業進学成就を中心に、家内安全・商売繁盛・交通安全・厄払い・安産等が願われています。

### 御創建の由来

今から約千年前 平将門は時の朝廷の政策に憤りをおぼえ乱(天慶の乱)起こした。しかし藤原秀郷・平貞盛等に鎮められ将門は捕えられ首を計たれた。その首は京に送られさらし首となったが、故郷恋しさのあまり獄門を抜け出し関東へ戻ろうと飛び立った。この異変を知り美濃国南宮神社では、将門の首が関東に戻るにより再び乱の起こることを恐れ祈願したところ、神社に坐す隼人神が矢をつがえ東に飛びゆく将門の首を射ち落とした。(隼人神の射た神矢が飛んだ道筋を矢の通った道として、現在の大垣市矢道町がある。)

この首が落ちた荒尾の地に将門公を神として崇め祀ることによって、再びその首が関東に戻らぬようその怒りを鎮め霊を慰めるために創建されたのが当御首神社であると伝えられている。



お正月の初詣



納められた帽子は、神様の近くで病気等諸祈願成就の守護が頂けるようご自身の代わりとして奉納されています。



ほうきの跡が身を引き締める車のお祓い場



## I. 組織の概要

1. 事業所名 伊藤鉄工株式会社
2. 代表者 代表取締役 伊藤 誠
3. 所在地 〒503-0985  
岐阜県大垣市野口3丁目1番地7号
4. 連絡先 TEL 0584-91-6849 / FAX 0584-93-0075  
E-mail heky66@proof.ocn.ne.jp
5. 経営理念 (1) お客様のご要望に「確かな技術・誠実な対応」で  
応え、社会の発展に貢献する。  
(2) ものづくりを通して社員の人的成長を図る。
6. 事業の概要 マシニングセンター、NC旋盤、ワイヤーカット等で金属部品  
(治工具、試作品、金型部品)の加工及びダーツ・バレルの製  
造
7. 事業規模等  
①創業年月 1969年8月(昭和44年)  
②資本金 3,450万円  
③従業員数 12名  
④面積 敷地1657.6㎡ 床495㎡



### 伊藤鉄工(株)の変遷

1969年(昭和44年)  
1979年(昭和54年)  
1996年(平成8年)

2010年(平成22年)1月

2011年(平成23年)3月

創業

伊藤鉄工(株)を設立

地元5社が共同で「大垣テクノメタル協同組合」を  
結成し、工業団地として新天地へ移転

エコアクション21の認証を取得

認証・登録番号 0004532

第14回環境コミュニケーション大賞の環境活動レ  
ポート部門で「奨励賞」を受賞





## Ⅱ.対象範囲

- |                    |  |
|--------------------|--|
| 1. 認証・登録範囲         | 全社・全組織・全活動   |
| 2. 対象期間及び発行日       | 対象期間：平成26年10月1日～平成27年9月30日<br>(平成27年度の当社会計年度)<br>第7版 発行日：平成27年10月20日 |
| 3. 環境推進組織          |  |
| ①環境管理責任者           | 伊藤 誠   |
| ②副環境管理責任者          | 山田 韶月  |
| 4. 環境推進組織図         |  |
| 社長/環境管理責任者         | ----全社統括、営業、技術、管理責任者   |
| └─副環境管理責任者         | └─環境管理責任者補佐、EA21活動推進事務局、マニフェスト管理                                     |
| └─事務部              | └─総務、人事、経理   |
| └─製造：ダーツ           | └─ダーツ製造、設備管理、廃棄物管理、緊急事態の準備及び対応                                       |
| └─製造：その他           | └─その他製造、設備管理、廃棄物管理、緊急事態の準備及び対応                                       |
| 5. 環境活動レポート次期作成予定日 | 平成28年10月中旬   |



## Ⅲ.環境理念・環境方針

### 環境理念

伊藤鉄工(株)は金属等の切削加工業者として、地球環境問題が地球上の人類と生命にとって、最重要課題であることを認識し、環境負荷の継続的削減に努め、社会に貢献できる持続可能な企業活動を推進します。

### 環境方針

環境関連の法規、規制、条例を遵守し、継続的に環境負荷を削減するため、環境マネジメントシステムを構築し運用します。そのために、以下の項目の継続的な改善に全社員で取り組みます。

1. 電気・化石燃料等のエネルギー使用量（二酸化炭素の排出量）の削減に努めます。
2. 環境負荷の低減をめざした生産活動に取り組みます。
3. 廃棄物の再資源化に努めるとともに、廃棄量を削減します。
4. 節水に努め水使用量を削減します。
5. 環境方針を全社員に周知徹底するために、教育・訓練を実施します。

平成27年7月3日  
伊藤鉄工株式会社

代表取締役 **伊藤 誠**



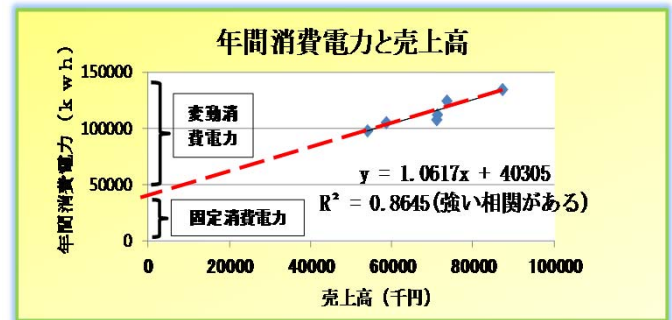


# Ⅳ.環境目標

## 1. 指標の考え方

### 1) 変動消費電力量と固定消費電力量

過去の売上高をX軸に、年間消費電力量をY軸にグラフ化した場合の相関関係は右図のような回帰直線が描ける。この回帰線とY軸の交点を「固定消費電力量」とし、交点以上を「変動消費電力量」としてある。



### 2) 化石燃料使用量

自動車の燃費 (km/ℓ) の指標は、車の性能に左右されエコ運転の励行にも限界がある。従って、化石燃料削減努力が見えやすい、全車の全走行距離を指標にしてある。

### 3) 廃棄物 (金属)

当社は材料支給による切削加工業である。従って、金属屑 (切粉) の削減には限界があるため、分別を目標にしている。

### 4) 廃棄物 (水性切削油)

加工機の切削油の交換・廃棄は、年に1~2回である。この状況で年度ごとの廃棄量の集計は意味がない。従って、前年度と今年度の廃棄量の移動平均を指標にしている。

### 5) 水使用量の基準値

当社の水の消費は水溶性切削油と社員の生活排水であり、生産活動で日常的には水を使用していない。従って、水使用量は生産高に関係ない部分が多いと判断し、水の使用量 (m<sup>3</sup>) を指標にしている。

## 2. 削減目標

数値目標を「〇〇パーセント削減しよう」と提示するだけでは、毎日の生産活動でどのように取組むかが見えてこない。従って、次のようなスローガン方式にした。

目標値に示してある削減パーセントは、このスローガンから算出した削減目標率である。

- i) 変動消費電力は3年間で2.5%削減 : スローガン「3年間で作業時間を15分短縮」
- ii) 走行距離は3年間で1.8%削減 : スローガン「3年間で1日の走行距離を2km短縮」

### 第3次中期計画の目標値

項目		基準値	基準値算出根拠	第3次中期計画最終	第3次中期計画の年度ごと目標値		
					H27年度	H28年度	H29年度
電気エネルギー使用量	変動消費電力量原単位kwh/売上高(万円)	6.55	H14~H16年度の平均	6.39 2.5%削減	6.50 0.8%削減	6.46 1.7%削減	6.39 2.5%削減
	固定消費電力量kwh	40,300	H13~H18年度の平均	40,300 以下	40,300 以下	40,300 以下	40,300 以下
化石燃料使用量	走行距離原単位km/売上高(万円)	3.53	H23年度	3.46 1.8%削減	3.51 0.6%削減	3.49 1.2%削減	3.47 1.8%削減
廃棄物(金属)の分別	金属屑の重量kg(参考)	支給材による切削加工のため分別を目指す			分別回収	分別回収	分別回収
廃棄物(水溶性切削油)	水溶性切削油(ℓ)	750	H22,H23の移動平均	750 以下	750 以下	750 以下	750 以下
水使用量の削減	水使用量(m <sup>3</sup> )	193	H23年度	193 以下	193 以下	193 以下	193 以下

本年度の目標値



# V.環境活動計画

## 1. 活動内容

改善活動には、「改善点検表」「エアコン点検・整備記録簿」「保全カレンダー」などチェックリストを作製して、実施している。まず、日々の小さな事から行って必要な書類を活かして、改善があればすぐに対処しております。チェックリストは、社員順番でみんなが行う方式を採っており、社員の意識の向上もねらっております。社員一丸となって行う、「エコ会議」が今年度は、3回となってしまったので来年度の課題としております。

環境活動計画で計画した以外の取組みも「取組結果とその評価」の項目で報告する。

## 2. 環境活動計画

環境目標	取組事項
電気エネルギー使用量の削減	<b>1.省エネルギー化</b>
	「昼の照明器具電源OFF点検表」の運用(電気機器・天井部水銀灯)
	コンプレッサ及びエアードライヤ「保全カレンダー」の点検・整備
	「エアコン点検・整備記録簿」の点検・掃除(エアコン5台)
	冷暖房効果を上げる為に、二重窓(防火シート)の作製
	エアコン稼働時間の把握とデータ集計
	「I社」-使用合理化等事業者支援補助金」の申請→採択にいたらず。
	<b>2.生産性の向上</b>
	改善点検票の運用(月1回交代制でチェック)と見直し
	5Sによる見える化(共有工具・材料・重量物の移動・掃除)
化石燃料等のI社使用量の削減	<b>3.工場内の空間利用</b>
	旋盤爪棚製作 シムの整理
金属屑の再資源化	<b>4.走行距離の削減</b>
	走行距離のデータ収集・集計 社内・社外でのエコ運転推進
水溶性切削油の削減	<b>5.材質別分別(金属屑)</b>
	切粉置場及び周辺の定期的確認「改善点検表」・業者回収後の整理整頓の徹底 重量物の移動・掃除の効率化
節水	<b>6.材質別分別(水溶性切削油)</b>
	廃油置場及び周辺の定期的確認「改善点検表」・業者回収後の整理整頓の徹底
環境方針を全従業員に周知徹底するため、教育・訓練の実施	<b>7.節水の方策と啓発活動</b>
	手洗い場の節水呼びかけシールによる活動・水溶性切削油中の油除去装置の活用
	<b>8.環境に関する活動</b>
	環境取組自己チェック表の集計・評価・環境関連法規遵守状況のチェック
	消防訓練
	「保全カレンダー」「改善点検表」の運用
	<b>9.エコ会の協議</b>
	エコ会議の議事・議事録の作成
	「改善点検表」の報告
	強化月間テーマの感想と次月のテーマ
平成27年度エコ活動の反省	
2班に分かれた一斉エコ活動	
	<b>10.グリーン購入(5Rの推進)</b>
	ダーツ納入時の過剰梱包(リデュース)
	用紙の裏面活用(リデュース)
	廃材の利用リユース(リユース)
	使用済ウエス、軍手入れの設置と運用機械の掃除等で再利用する。(リユース)
	1リットルパック、乾電池、チップの回収(リサイクル)
機械カルテの記載と運用(リペア)	



# VI.環境目標と実績

平成27年度は、指標値を見直し、第3次中期計画がスタートした年である。  
※過去2年分の実績値は参考に載せる。

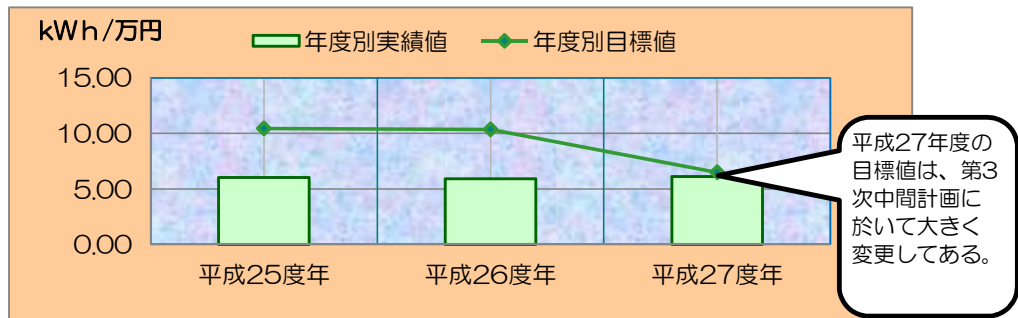
## 1. 電気使用量の削減

■ 緑色塗りつぶしが本年度の実績値

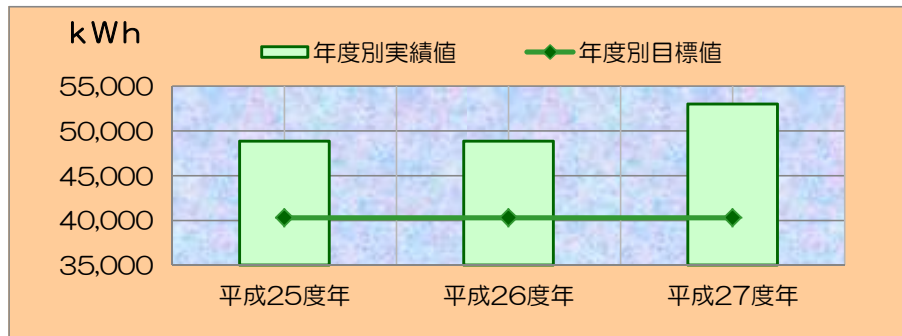
(電気事業者の排出係数は、0.474CO<sub>2</sub>/kWhを使用)

項目	基準値	目標	※ 実績 (平成25年度)	※ 実績 (平成26年度)	実績 (平成27年度)
変動消費電力量原単位 kWh/万円	6.55	6.5	6.03	5.92	6.11 (6.4%向上)
固定消費電力量 kWh	40,300	40,300 以下	48,842	48,853	52,988 (23.95%悪化)

グラフ1 変動消費電力量原単位



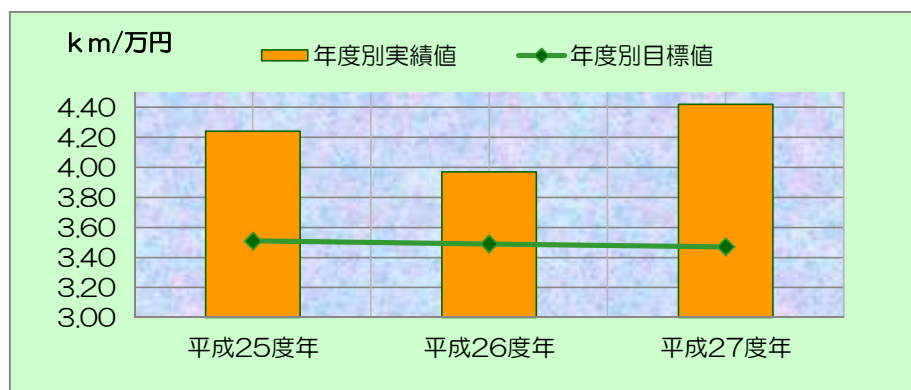
グラフ2 固定消費電力量



## 2. 化石燃料使用量の削減

項目	基準値	目標	※ 実績 (平成25年度)	※ 実績 (平成26年度)	実績 (平成27年度)
走行距離原単位 km/万円	3.53	3.51	4.24	3.97	4.42 (20.59%悪化)

グラフ3 走行距離原単位





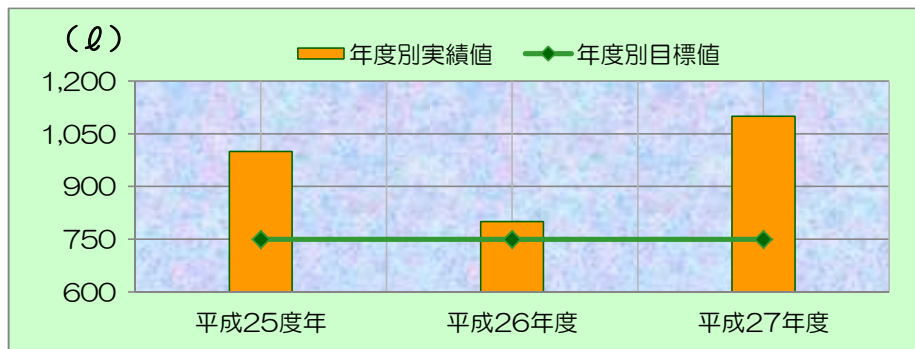
### 3. 廃棄物の分別（再生金属）

項目	基準値	目標	※ 実績 (平成25年度)	※ 実績 (平成26年度)	実績 (平成27年度)
分別	分別の徹底 100%	分別の徹底 100%	分別の徹底 100%	分別の徹底 100%	分別の徹底 100%
再生金属重量(切粉) (kg) 参考			13,406	9,289	11,136

### 4. 廃棄物の削減（廃油量）

項目	基準値	目標	※ 実績 (平成25年度)	※ 実績 (平成26年度)	実績 (平成27年度)
廃油量移動平均 (ℓ)	750	750 以下	1,000	800 (6.3%悪化)	1,100 (46.67%悪化)
本年度(単年度)の廃 油量(ℓ) 参考			800	800	800

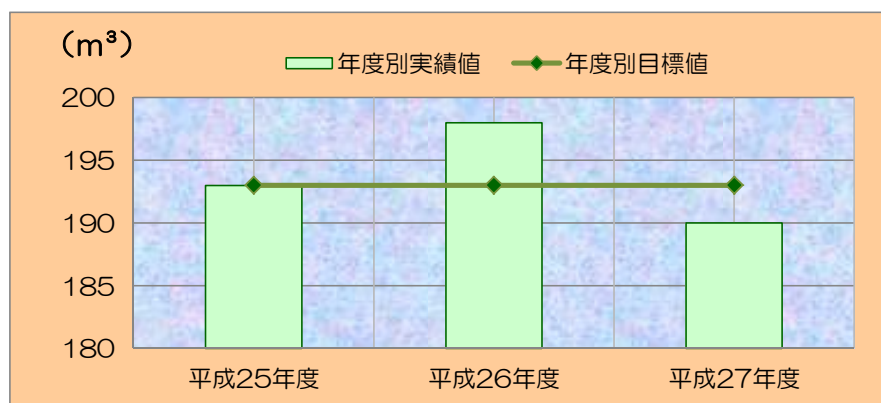
グラフ4 廃油量の移動平均



### 5. 水使用量の削減

項目	基準値	目標	※ 実績 (平成25年度)	※ 実績 (平成26年度)	実績 (平成27年度)
水使用量 (m <sup>3</sup> )	193	193 以下	193	198	190 (1.5%向上)

グラフ5 水使用量





# VII. 環境活動計画の取組結果とその評価



：新規の活動



：長期で改善、継続している活動



：保全カレンダーの予定に沿った継続活動

行動計画(P)/実施事項(D)	スケジュール				達成状況とその評価 (C.A)	
	10月~12月	1月~3月	4月~6月	7月~9月		
<b>1. 省エネルギー化</b>						
「夏の照明機具電源OFF点検表」の運用					夏の休憩中の照明のOFFチェック表にて開始運用しています。 「IATJ点検・整備記録簿4月より3ヶ月に1度開始 南工場出入口から開始。シャッター・窓については、今後検討。 「IATJ管理表」の運用 フィン調整板を取り付けました。	
コップレジャー・IADライターの整備						
エアコン5台を清掃						
「IATJ点検・整備記録簿」						
南工場出入口を断熱の為に防炎シートにて二重窓化						
エアコン稼働時間の把握とデータ集計・温度管理						
電気使用量の月別変化をグラフ化し工場に掲示						
グリーンカーテンの活用						
電気使用量の月別変化をグラフ化し工場に掲示						
IATJの効率化フィンの調整板						
<b>2. 生産性の向上</b>						
「改善点検結果報告表」の運用					継続しています。	
5Sによる見える化					共有工具・材料・重量物の移動・掃除	
<b>3. 工場内の空間利用</b>						
旋盤爪棚製作						
シムの整理						
<b>4. 走行距離の削減</b>						
各車両の月別走行距離・燃料費のデータ収集・集計					「運行管理表」の運用	
社内・社外でのエコ運転推進						
<b>5. 材質別分別(金属屑)</b>						
切粉置場及び周辺の定期的確認					「改善点検表」の運用	
業者回収後の整理整頓の徹底						
重量物の移動・掃除の効率化						
改善点検表によるチェック項目の改善						
<b>6. 材質別分別(水溶性切削油)</b>						
廃油置場及び周辺の定期的確認					「改善点検表」の運用	
業者回収後の整理整頓の徹底						
水溶性切削油と油性切削油の分別						
漏れ油吸着マット使用手順の学習						残念ながら実施できず。
廃油排水抜きバルブ開閉器作製						
<b>7. 節水の方策と啓発活動</b>						
手洗い場の節水呼びかけツールによる活動					定着している。	
水溶性切削油中の油除去装置の活用						
<b>8. 環境に関する活動</b>						
環境取組自己チェック表の集計・評価						
環境関連法規遵守状況のチェック						
消防訓練						
保全カレンダーの運用						
「改善点検表」の運用						
<b>9. エコ会の協議</b>						
エコ会議の議事・議事録の作成					今年度は、3回しかエコ会議が出来なかったため来年度は6回以上行いたい。 1度も出来なかった。	
「改善点検表」の報告						
強化月間テーマの感想と次月のテーマ						
平成27年度エコ活動の反省						
2班に分かれた一斉エコ活動						
<b>10. グリーン購入(5Rの推進)</b>						
ダーツ納入時の過剰梱包(リデュース)					全社員心掛けております。	
用紙の裏面活用(リデュース)						
廃材の利用リユース(リユース)						
使用済ウエス、軍手入れの設置と運用(機械の掃除等で再利用する。)(リユース)						
inkカートリッジ、乾電池、チップの回収(リサイクル)						
機械カルテの記載と運用(リペア)						

# 主な活動報

## 電気I初ギ-使用量の削減

### 1.省I初ギ-化

断熱の為2重扉(防火シート)



「使用電力量の推移」グラフにて揭示



エアコンフィン調整板の作製(廃材にて作製)



〈フィンの材料〉

お菓子の空き缶を利用して作りました。



### 3.工場内の空間利用

汎の整理

〈改善前〉

同じ種類のものが袋に入っていた。



〈改善後〉

引き出し+牛乳パックを利用して取り出しやすくした。



## 廃棄物の(金属屑)の再資源化に努める

### 6. 材質別分別(水溶性切削油)

廃油の排水抜きバルブ 開閉器作製



開け閉めらくらくになりました。  
表示も付けて、使用棒



## 環境方針を全従業員に周知徹底するため、教育・訓練の実施

### 8. 環境に関する活動

消防訓練  
「火事だ〜！」

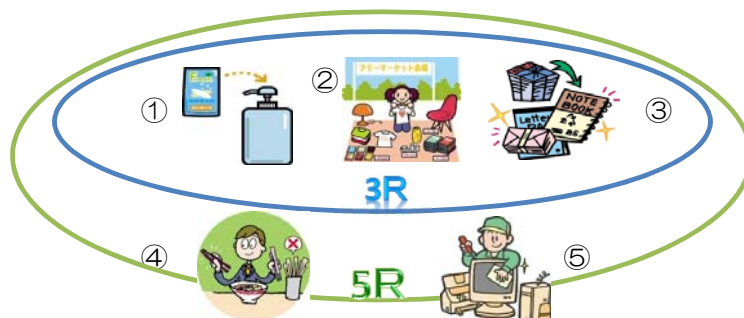


「火元」狙って頑張りました。



### 10. グリーン購入(5Rの推進)

- ①リデュース：減量、減らす
- ②リユース：再使用、再利用
- ③リサイクル：再生利用
- ④リフューズ：購入拒否
- ⑤リペア：修理





## Ⅷ.次年度の取組内容

### 1. 指標の設定

消費電力量の削減量が、エコ活動によってより効果が現れやすい指標を目指して、売上高に比例する変動消費電力量原単位と固定消費電力量に分けてデータ収集をしてきた。

また、化石燃料使用量の削減は、車両ごとの燃費では車両の性能に大きく依存し私たちのエコ運転では削減努力に限界を感じた。従って、エコ運転は継続しつつ当社全車両の合計走行距離の短縮に視点を置いた走行距離原単位でデータ収集をしてきた。

いずれもデータ取得数が4年間であるため、指標は変更せず継続してデータ収集をしていくことにする。

### 2. 削減率

「削減率は〇〇パーセントです。」これでは、削減努力をどうすればよいか「雲をつかむ」話しである。具体的に示せるように次のようなスローガンに置き換えた。削減パーセントは、このスローガンから年間消費電力量及び年間走行距離及び述べ操業時間から算出した数値である。

①変動消費電力量は、「**3年間で1日15分相当の作業時間を短縮しよう**」：3年間で2.5%削減

②走行距離は、「**3年間で1日2kmの走行距離を短縮しよう**」：3年間で1.8%削減

その他の項目は、現状に合わせて次のようにしている。

③金属屑（切粉）は、当社の場合支給材加工が本業のため切粉の分別を目標にしてきた。ただ、参考データとして年間総廃棄重量のデータは収集している。

④水溶性廃棄物は、機械の水溶性切削油が主な排出源である。年によっては、零(0)の時もあり年ごとの変動が大きい。従って前年度と該当年度の移動平均の実績値を指標にしている。

⑤水使用量の、主な排出源は前記した機械の切削油と社員の生活排水である。従って、実績値を指標にしている。

いずれもデータ取得数が4年間であるため、継続してデータ収集をしていくことにする。

平成28年度以降の目標値は次の表のようになる。

平成27年度以降（第3次中期計画）の目標値

項目		基準値	基準値算出根拠	第3次中期計画最終目標	第3次中期計画年度ごとの目標値		
					H27年度	H28年度	H29年度
電気エネルギー使用量	変動消費電力量原単位 kwh/売上高(万円)	6.55	H14～H16年度の平均	6.39 2.5%削減	6.50 0.8%削減	6.46 1.7%削減	6.39 2.5%削減
	固定消費電力量 kwh	40,300	H13～H18年度の平均	40,300 以下	40,300 以下	40,300 以下	40,300 以下
化石燃料使用量	走行距離原単位 km/売上高(万円)	3.53	H23年度	3.47 1.8%削減	3.51 0.6%削減	3.49 1.2%削減	3.47 1.8%削減
廃棄物(金属)の分別	金属屑の重量kg (参考)	支給材による切削加工のため分別を目指す			分別回収	分別回収	分別回収
廃棄物(水溶性切削油)	水溶性切削油(L)	750	H22.H23の移動平均	750 以下	750 以下	750 以下	750 以下
水使用量の削減	水使用量(m3)	193	H23年度	193 以下	193 以下	193 以下	193 以下

### 3. その他エコ活動・取組の主な改善項目

平成27年度は、特に大幅な改善などなく平成26年度の継続である。平成28年度は、エコ会議の回数を増やし内容の濃い会議を行いたいです。

#### (1) 環境への取組の自己チェックリスト

環境への取組の自己チェックリストの記入を、平成25年度より全社員が記入し、集計は、平均値を採用する。

#### (2) 月ごとの消費電力量のグラフの掲示

今年度は、過去2年間の月ごとの消費電力量のグラフを掲示し、該当年度の消費電力量をシールと紙テープなどで表示し、社員の節電効果が見えるようにしていく。

#### (3) 改善点検結果報告書の掲示

改善点検表を月1回交代制でチェック（過去に改善した設備等が整理・整頓・維持管理されているかどうかのチェック）と見直しをしている。これらの報告を、掲示した「改善点検結果報告表」に再度記入し全社員で整理・整頓・維持管理するようにした。昨年度より継続している。

#### (4) 「江戸しぐさ」の小型版

エコ会議ごとに目標標語に「江戸しぐさ」を工場内に大きく掲示している。平常時も意識できるように小型の目標標語板を製作し、トイレを含め各所に掲示する。

環境目標	取組事項	
電気エネルギー使用量の削減	<b>1.省エネルギー化</b> 「昼の照明器具電源OFF点検表」の運用(電気機器・天井部水銀灯) コンプレッサ及びエアードライヤ「保全カレンダー」の運用 「エアコン点検・整備記録簿」の点検・掃除(エアコン5台) 冷暖房効果を上げる為に、二重窓(防火シート)の取付 エアコン稼働時間の把握とデータ集計	
	<b>2.生産性の向上</b> 改善点検票の運用(月1回交代制でチェック)と見直し 5Sによる見える化(共有工具・材料・重量物の移動・掃除)	
	<b>3.工場内の空間利用</b>	
	化石燃料等の1社1社-使用量の削減	<b>4.走行距離の削減</b> 走行距離のデータ収集・集計 社内・社外でのエコ運転推進
	金属屑の再資源化	<b>5.材質別分別(金属屑)</b> 切粉置場及び周辺の定期的確認「改善点検表」・業者回収後の整理整頓の徹底 重量物の移動・掃除の効率化
	水溶性切削油の削減	<b>6.材質別分別(水溶性切削油)</b> 廃油置場及び周辺の定期的確認「改善点検表」・業者回収後の整理整頓の徹底
節水	<b>7.節水の方策と啓発活動</b> 手洗い場の節水呼びかけシールによる活動・水溶性切削油中の油除去装置の活用	
環境方針を全従業員に周知徹底するため、教育・訓練の実施	<b>8.環境に関する活動</b> 環境取組自己チェック表の集計・評価・環境関連法規遵守状況のチェック 消防訓練 「保全カレンダー」「改善点検表」の運用	
	<b>9.エコ会の協議</b> エコ会議の議事・議事録の作成 「改善点検表」の報告 強化月間テーマの感想と次月のテーマ 平成27年度エコ活動の反省 2班に分かれた一斉エコ活動 ★「江戸しぐさ」の過去実践したパネル一覧の作製 ★新人教育	
	<b>10.グリーン購入(5Rの推進)</b> ダーツ納入時の過剰梱包(リデュース) 用紙の裏面活用(リデュース) 廃材の利用リユース(リユース) 使用済ウエス、軍手入れの設置と運用機械の掃除等で再利用する。(リユース) インカトリッジ、乾電池、チップ 機械カルテの記載と運用(リペア) ★次年度追加の取組予定	



## Ⅸ.環境関連法規等の遵守状況の確認及び評価の結果並びに違反、訴訟等の有無

### 1. 遵守状況の確認及び評価の結果

主な法規	要 求 事 項	最終改正年月日	評価結果
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	保管基準、看板記載事項、運搬・処分委託、委託契約書、マニフェスト、焼却の禁止	平成26年6月日3 法律第69号	○
大垣消防組合火災予防条例	貯蔵及び取扱の技術上の基準等、火を使用する設備等の届け出、煙等を発するおそれのある行為等の届出	平成26年3月27日 消防組合条例第3号	○
労働安全衛生規則	ルーフ就業制限、玉掛け就業制限、アーク・ガスによる溶接及び溶断に係わる就業制限、切削砥石就業制限	平成26年8月25日 厚生労働省令第101号	○
一般高圧ガス保安規則	溶解アセチレン装置の管理等、酸素ガス容器置場、液化炭酸ガス容器置場、その他消費に係わる技術上の基準	平成26年5月30日 経済産業省令第30号	○
岐阜県公害防止条例	特定施設の設置の届出（施設の種類：走行クレーン）	平成12年3月24日 条例第2号	○
水質汚濁防止法	事故時の措置	平成26年6月18日 法律第72号	○
特定製品に係わるフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	第一種特定廃棄物実施者の引渡義務：エアコン廃棄	平成25年6月12日 法律第59号	○
顧客要求事項	イビテングリーン調達ガイドライン（第3版）	2014年9月	○
フロン排出抑制法	業務用冷凍空調機器の使用は電動機の定格出力により、自社での簡易定期点検又は、有資格者による定期点検	平成27年4月1日	○
工業団地協定	敷地の5%緑地、油水分離槽（雨水）の設置	平成8年	○

以上、最新の法律に基づき正しく遵守していることを確認しました。

### 2. 違反、訴訟等の有無

平成27年度は、当社における周辺住民からの苦情及び環境関連法規等への違反、訴訟はありません。



## X.代表者による総合評価

仕事が忙しいため、活動時間が少なくなりましたが、よくやっていると思います。担当者の負担を少なくするため、誰もが担当者になれるよう人材を育成してほしい。